

MSC Scientific Writing and Publishing Workshops

MSC 論文執筆ワークショップ

企画趣旨

個人や機関または地域における科学の発展レベルを測る際、論文の質や発表数は、ひとつの基準となりえます。その一方で、発表されることのない優秀な論文も数多く存在します。

論文掲載の可否は、研究そのものの重要性はもちろん、論文の執筆スキルにも大きく影響されます。いかに優れた研究であったとしても、それを伝達する手段に問題がある場合、その成果やアイデアは正確に読み手に伝わらず、正当な評価を受けることができません。優れた研究成果は、正しく伝達されてはじめて意味をなすのです。

時間がなかなか取れない先生・研究員の方に、集中的に論文を書き進めるコツを紹介し、論文執筆のための議論をしていただく、そういったニーズに対応するために企画されたのが MSC 論文執筆ワークショップ*です。

MSC ワークショップ

マクミラン・サイエンティフィック・コミュニケーションズ (MSC) は、科学誌 *Nature* の発行元であるネイチャー・パブリッシング・グループ (NPG) の親会社、マクミラン・パブリッシャーズのサイエンスコミュニケーション専門部署です。MSC ワークショップでは、*Nature* をはじめとする影響力の高いジャーナルのエディター及びエディター経験者がトレーナーとなって、実体験に基づく生の情報やノウハウを提供し、「書き方」の問題点と改善法のサポートをいたします。

ワークショップの内容は、ご希望に合わせてカスタムメイドいたします。

- | | |
|-----------|------------------------|
| ・ 日程 | ・ 受講者のレベル(若手/中堅/PI など) |
| ・ 規模 | ・ 分野 |
| ・ トレーナーの数 | ・ 教材 |

*MSC ワークショップの受講は、*Nature* 各誌への論文掲載を確約、または優先的に採用することをなんら約束するものではありません。

概要

コース

受講者のレベルに応じて
2 種類のコースを提供



基礎コース

対象者: 論文出版の経験が浅い、または経験のない学生など
内容: 論文執筆・編集の基本と主要点

アウトラインの書き方、執筆を始める前の注意点、文章の異なる要素と各セクションの効果的な使い方、陥りがちな過ちなど、論文の執筆方法を段階別に説明し、論理的な文章の展開方法を解説します。

上級者コース

対象者: 論文出版の経験があり、ご自身のスキルアップのさらなる向上を目指される方
内容: 執筆方法や採用されるためのテクニック、採用後のプロセスなど

投稿方法、カバーレターの書き方、より効果的なライティングスタイルなどの「選ばれるためのテクニック」のほか、編集者から得られるサポート、ピア・レビュー(査読)プロセス、出版にいたるまでの手順、オープンアクセス(OA)ジャーナルの可能性など、掲載決定以降のプロセスや注意事項などを講義します。

内容

受講者との対話を重視した
インタラクティブな進行

- ・ 質疑応答を含めたレクチャー
- ・ 参考資料や用例を使った実践演習
- ・ グループディスカッション

トレーナーの実体験に基づく生の情報などを交え、可能な限りインタラクティブな形式で進行します。内容は日数や受講者数、受講者のレベルやニーズによりカスタマイズいたします。

トレーナー

ご希望の専門分野をカバーする *Nature* 及び *Nature Research* ジャーナルのエディター及びエディター経験者、あるいは影響力の高いジャーナルの経験豊富なエディター経験者が務めます。

教材・配布物

各種資料配布

- 教材: ワークブック(支給)またはプレゼンテーションスライド
- 配布物:
- ・ トレーナーの略歴
 - ・ 参考資料
 - ・ 参考文献・原稿執筆チェックリスト
 - ・ 参考資料「How to Get Published in *Nature*」(英語)
 - ・ MSC ワークショップ終了証明書
 - ・ 筆記用具(メモ帳、ペン)
 - ・ *Nature* 最新号